

ミュージックベルの仕様

ミュージックベルは、ピアノの鍵盤を1個1個ばらばらにしたのと同じようなものであり、最大の特徴はこの点にあります。ミュージックベルMB-G、C、Sシリーズを鍵盤の右手部分、ミュージックベルエクセレントMB-GEを左手部分として利用することで、より豊かな表現も可能になります。

構造

ミュージックベルは、①ベル部、②クラッパー部、③スプリング部、④ハンドル部からなっています。

どの部分も正しい音程ときれいな音色をだすために大切な部分です。下記に留意してご使用ください。

△取扱い上の注意

- ・クラッパー部分を手で引っ張ってスプリングを伸ばさないでください。
- ・ベルをぶつけて変形させたりしないようにしてください。(通常の演奏やマレット演奏、手で持つなどでは変形はしません。)
- ・ハンドル部、ベル部の連結部分に必要な以上の力を加えないようにしてください。
- ・ベルが汚れた場合は、柔らかい乾いた布で拭きとってください。

《ミュージックベルの断面図》



音域

ミュージックベルの音域はA₄からG₇までの、ほぼ3オクターブ(半音階)をカバーしています。実音より楽譜は1オクターブ低く記譜されます。

音名表示

音名はミュージックベルのハンドル部に表示しています。

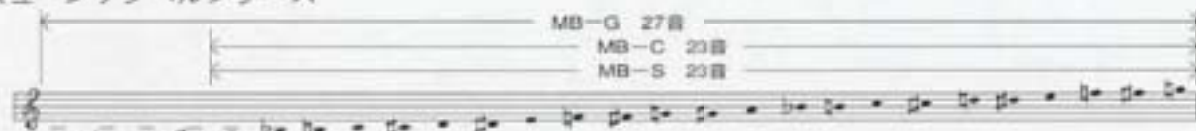
音名の表示方法は、「ド、レ、ミ、……」表示ではなく、英語式のアルファベット文字を使っています。

これは、移動「ド」唱法のとときにまぎらわしくならないようにするためと、同時に、コード・ネームの関連づけをしやすくするためです。

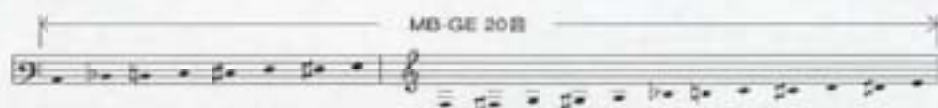
各音名は下記のように表示しています。ミュージックベルシリーズの高音部は「黒地に白抜き文字」、中音部は「白地に黒文字」、低音部は「金地に黒文字」で示しています。エクセレントシリーズは「金地に下線付黒文字」で示しています。(C \sharp =D \flat 、D \sharp =E \flat 、…の異名同音は、 \sharp の方を大きく表示していますが、A \sharp =B \flat だけは、慣習上 \flat の方を大きく表示しています。)



●ミュージックベルシリーズ



音名	ファ	ファ	ソ	ソ	ラ	シ	シ	ド	ド	レ	レ	ミ	ファ	ファ	ソ	ソ	ラ	シ	シ	ド	ド	レ	レ	ミ	ファ	ファ	ソ	
No.	25	24	23	22	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	32	33	
音名表示	F	F \sharp	G	G \sharp	A	A \flat	(B)	C	C \sharp	(D)	D \flat	(E)	F	F \sharp	G	G \sharp	A	A \flat	B	B \flat	C	C \sharp	D	D \flat	E	F	F \sharp	G



音名	ラ	シ	シ	ド	ド	レ	レ	ミ	ファ	ファ	ソ	ソ	ラ	シ	シ	ド	ド	レ	レ	ミ		
No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
音名表示	A	A \flat	B	B \flat	C	C \sharp	D	D \flat	E	F	F \sharp	G	G \sharp	A	A \flat	B	B \flat	C	C \sharp	D	D \flat	E